

唐桑町まちづくりタイムズ

by 唐桑町まちづくり協議会

Vol.12 2021.10

唐桑町まちづくり協議会は、「唐桑の歴史と伝統を大切に、郷土の美しさと豊かさを次の世代につなぐこと」を目的に、地産地消・地域交通・地域教育を中心に、さまざまなプロジェクトを実践しています。

『唐桑町まちづくりタイムズ』では、唐桑町まちづくり協議会の活動の様子や唐桑のまちづくり情報について紹介します。ぜひチェックしてくださいね。

唐桑中学校まちづくり学習会

1年生 16名 『防災のまち唐桑』

2年生 33名 『福祉のまち唐桑』

3年生 31名 『海のまち唐桑』

今年度も唐桑中学校と唐桑地域3公民館の共催で、まちづくり学習会が行われています。まちづくり学習会とは「気仙沼市協働教育PF事業」で、当協議会が地域学校協働活動推進員（コーディネーター）をしています。

各学年テーマごとにふるさとについての理解を深めながら、まちづくりについて考え、実践につなげます。

1年生『防災のまち唐桑』

唐桑半島ビジターセンターとオルレ

7月15日（木）唐桑町観光協会の熊谷さんガイドのもと、宮城オルレ気仙沼唐桑コースを探索しました。熊谷さんからはコースや草木・生物の説明、災害時の避難想定などをお話いただきました。子供達はゴミを拾ったり、草木や生物に触れたりしながらオルレを歩きました。ビジターセンターの津波体験館では東日本大震災の津波を体験しました。最後に、「普段から災害時のことを意識して過ごしていきたい」と感想があり、地域の防災について学び、防災意識を高めました。



震災当時について講話

7月16日（金）3つのグループに分かれて、「自助」・「共助」・「公助」の立場から、男帛智子さん・吉田三喜男さん・鈴木實夫さんのお話を聞きました。東日本大震災当時の様子やどんな対応をしたかなど、実際の体験をもとにお話いただきました。子供達は話を聞き、積極的に質問するなどして、3つの「助」の役割や命を守ることの大切さについて学びました。その後グループごとに発表し、災害が発生した時どう行動すべきか、自分たちに今できることは何かを考えました。



地域交通プロジェクトチームでは、「地域にあった交通の仕組みづくり」をテーマに活動しています。交通の最新技術を学びに、9月14日（火）登米市で行われた **BRT 自動運転試乗会** にメンバーで参加してきました。気仙沼線 BRT 柳津駅から陸前横山駅間（往復約 9.6km）で障害物検知や交互通行等を体験しました。なんと**大型車両で 60km/h 走行での自動運転**は日本初とのこと…！自動運転バスには、自車位置の特定や障害物検知のために様々なセンサーが搭載されており、そこから得た情報を使って安全に走行できるシステムになっていました。実際乗ると自動運転とは思えないくらいスムーズな走行に驚きました。

畑部による豆畑リベンジ！ 順調に成長中！

地産地消プロジェクトチームでは、「食の地産地消」をテーマに活動しています。その中のひとつ、**若手生産者コミュニティ「畑部」**では、畑を借りて豆を育てています。先輩農家さんに教えていただきながら、メンバーが協力して土づくりから植え、草取り、手入れなどを行なっています。



去年はシカに食べられてしまいましたが、今年はその反省を生かして柵や網などを強化しました。その結果、大きな被害を受けることはなく順調に成長しています。枝豆そして大豆の収穫までたどり着けるのか、今後もお楽しみに☆

【発行】 唐桑町まちづくり協議会 令和3年10月1日発行

【問合せ】 唐桑町まちづくり協議会

気仙沼市唐桑町馬場 181-1（唐桑総合支所 総務企画課内）

☎ 0226-32-4520

✉ kara.machi.12@gmail.com